

経済・金融 フラッシュ

中国経済:14年7月の製造業PMI ~51.7%と5ヵ月連続で上昇

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

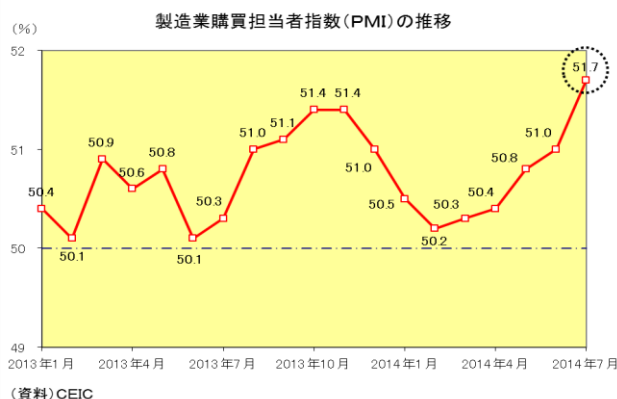
- 7月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は51.7%と前月と比べて0.7%ポイント上昇、2月を底に5ヵ月連続で改善、景気回復が続いていることを確認する結果となった。
- 生産経営活動予想指数は、住宅市場の変調などを背景に6月まで3ヵ月連続で悪化していたが、7月は55.3%と6月より0.5%ポイント改善、若干ながらも上昇に転じ落ち着きを取り戻した。
- 一方、新規輸出受注指数は欧米の景気回復や元安を背景に改善傾向を維持したが、最近の人民元はじりじりと上昇、この反転上昇がどのような影響を与えるのか、次回の発表が注目される。

【7月の総合指数は5ヵ月連続で上昇】

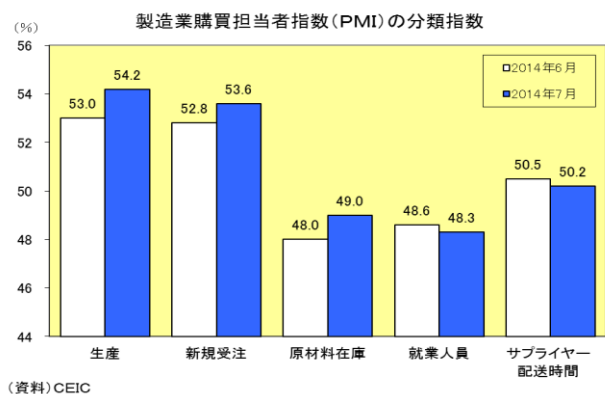
8月1日（金）、中国の国家統計局サービス業調査センターと物流購買連合会は2014年7月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。総合指数は51.7%と前月と比べて0.7%ポイント上昇、2月の50.2%をボトムに5ヵ月連続で改善した。拡張・収縮の分岐点となる50%を22ヵ月連続で上回るとともに、昨年夏に経済成長率が7%後半に上昇した時のレベルを上回っており、景気回復が続いていることを改めて確認する結果となった（図表-1）。

総合指数を構成する5つの分類指数を見ると、生産指数は前月より1.2%ポイントの改善、新規受注指数は0.8%ポイントの改善、原材料在庫指数は1.0%ポイントの改善、サプライヤー配送時間指数（逆指数）は0.3%ポイントの改善となる一方、就業人員指数は▲0.3%ポイントと小幅ながらも悪化している（図表-2）。寄与度を計算して見ると、加重割合が25%の生産指数が0.3%ポイント、同30%の新規受注指数が0.2%ポイント、それぞれ総合指数を押し上げている。

（図表-1）



（図表-2）

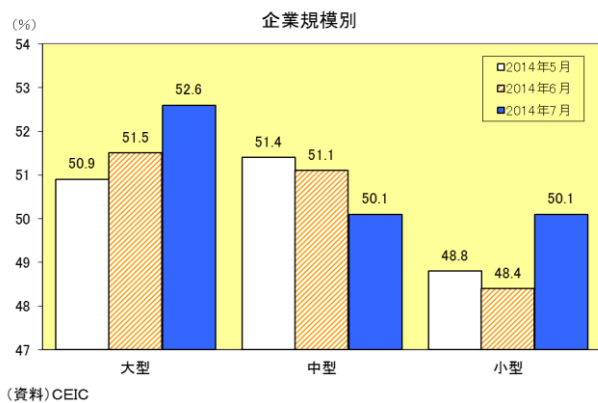


【 小型企業が大幅改善、予想指数も下げ止まり 】

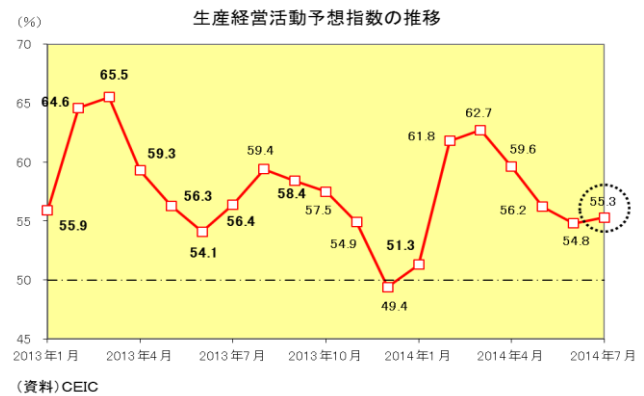
企業規模別に見ると、大型企業は 52.6%と引き続き改善、中型企業は逆に 50.1%とやや悪化、小型企業は大幅改善の 50.1%となった（図表-3）。小型企業の大幅改善は、中国の金融当局が預金準備率や預貸率を微調整して、零細企業への金融支援に乗り出したことが寄与したものと見られる。

また、今後 3 ヶ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は 55.3%と前月より 0.5%ポイント改善した（図表-4）。ここもこの予想指数は、住宅市場の変調などを背景に、6月まで 3 ヶ月連続で悪化していたが、7月は若干ながらも上昇に転じ落ち着きを取り戻した。

（図表-3）



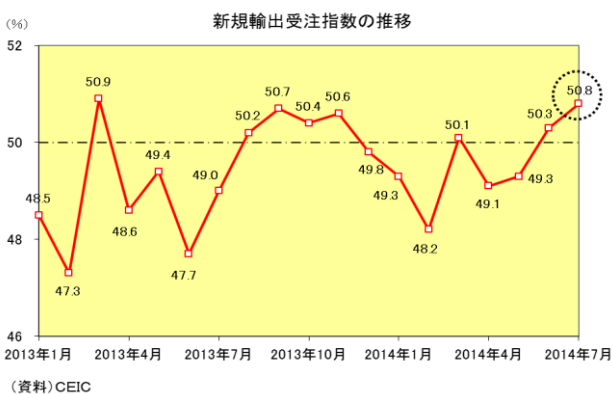
（図表-4）



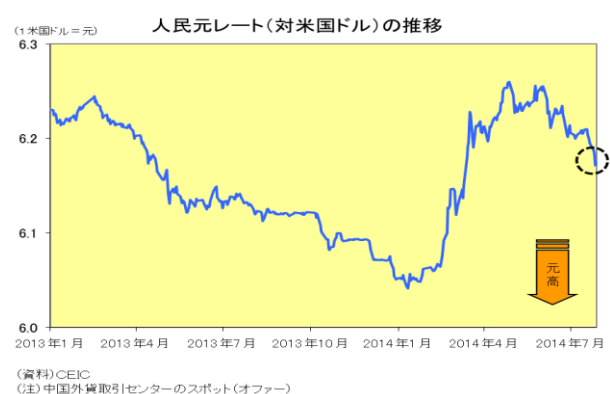
【 新規輸出受注は改善も、元安には変化の兆し 】

一方、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は 50.8%と前月より 0.5%ポイント改善、2 ヶ月連続で拡張・収縮の分岐点となる 50%を上回った（図表-5）。新規輸出受注指数は 2 月の 48.2%をボトムとして改善傾向にある。その背景には、欧米の景気回復に加えて、2月以降の人民元安（対米国ドル）がある。最近の人民元は米国ドルに対してじりじりと上昇しており、この反転上昇が新規輸出受注にどのような影響を与えるか、次回発表の 8月の動きが注目される（図表-6）。

（図表-5）



（図表-6）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。